

## 仙台市教員プレゼミナール

共に踏み出すはじめの一步 ~あなたを待っている  
子供たちがいる~

### 第6回 「先端ツールで魅力的な学びを創る」

令和6年2月7日(水)発行 仙台市教育委員会 教育センター 若手教員支援室

## チャレンジ！ICT 支援ツールで学びを創る

令和6年2月3日(土) 仙台市教育センターを会場に令和5年度第6回仙台市教員プレゼミナールを開催しました。今回はプレゼミナールの全8回を通じ、第7回に次いで申込数が多い回となり、参加者数は76名になりました。それだけ受講生にとって興味関心の高い回となっていることが分かります。学校の授業で使用している支援ツールの紹介及び演習があり、受講者からは、これまでなかなか学べないツールを知ることができたという声が聞かれました。なお、現在プレゼミナールの登録者総数は123名となりました。

### 1 「仙台市のGIGA スクール構想」

仙台市のGIGA スクール構想の現状と授業実践のポイント等について、教育センターの指導主事から話がありました。さらに、クロームブックの基本的な操作方法を学びながら、個別最適な学びや児童生徒が主体となって学ぶことの大切さなど、魅力ある授業づくりへ向けた取り組みについて学びを深めました。



### 2 「授業における1人1台端末活用のために」

仙台市立学校で取り入れられている授業支援ツールを実際に体験しました。今回は事前の受講者アンケートから、経験した人が少ないロイロノートとナビマにチャレンジしました。ロイロノートでは自己紹介文を作ったり共同ノートで各自の悩みに対するアドバイスを書いたりする活動を行い、ツールを使いながらグループで関わり合うことの大切さを学びました。また、デジタルドリルのナビマを使い、実際に学校で行っている算数の計算や国語の漢字の書き順を体験し、効果的な活用方法を学びました。



### <受講者の声>

○今日は私自身ロイロノートを用いた講義に夢中になり、2時間がとてもあっという間に感じました。これこそロイロノートを上手に活用すべき理由だと思いました。今までロイロノートやnavimaを使ったことがなく、授業のイメージを持つことができていませんでした。しかし、今回の講義を通して、児童の興味を引くようなクイズを作成したり、クラス全体で意見を共有できるような共同編集ノートを活用したりと様々な使い方があると学



ぶことができました。教師の職務効率を上げることも含めて活用していきたいと思います。今回も素敵な講座をありがとうございました。

○先端ツールというものが、イメージしていたものよりもポップで使いやすいものであることが分かり、大変勉強になりました。近頃の学校現場は全てICT 機器による授業展開になっているのかと思っていましたが、適切にアナログとの使い分けをすることが大切だと学びました。本日は初めて使うアプリケーションを体験できてとても良かったです。自分も授業をする時には、実践的な活動を取り入れて、子どもたちが楽しく有意義に学べるようにしたいと思いました。



○講座の中でもあったように、Google の Meet や Classroom に関しては、大学でも頻繁に使用していた為、使い方を把握していましたが、ロイロノートやナビマは大学では使用せず、教育実習の際に3週間使い方を教わり慣れる訓練を指導教諭にいただいたのみでした。久しぶりに使用し、少し忘れかけていた使い方を改めて思い出せてよかったです。また、教育実習の時には使用していなかった機能を今日は知れて、更に使う機能の幅も広がったと感じました。実際の教育現場に出るのは2カ月後にはなりますが、それまでの短い期間、プレゼミナールをとおしてその不安を少しでも払拭出来たらと思います。次回もよろしくお願いたします。



○現場に出て、不安に思うことの1つに ICT の活用がありました。そのため、今回の研修を受けて現場で実際に使われているものを体験することができ、良い学びになったと思います。ロイロノートは大学でも使ったことはありましたが、機能面に付いてあまり詳しくなかったため実際にどんなことができるツールなのかを知ることができました。また、navima も教育実習などで見せていただいたことしかなかったため、4月から効果的に活用できるよう勉強しておきたいです。Chromebook も子どもたちのほうが使いこなせるということになってはいいけないと思うので4月まで

に使い方をマスターして、使いこなせるようにしたいです。本日はありがとうございました。

○私はICTに関し強い苦手意識があったのですが、今回実際に体験することでその良さを感じました。また、使い方も思っていたより使いやすく、ロイロノートについても普段私が使っているパソコンとの違いなどが分かりました。今回の活動の中では解説を聞いただけではついていけなくなってしまったところがありましたが、それも他の人に相談することで解決することができました。まだ不安なところもありますが、今回その良さを感じたため、活用できるよう自分がまず使ってみて、そのうえで様々な事例などを学んでいきたいと思います。また、困ったことがあった時には今回のプレゼミナールと同様に周囲の人に助けをもらいつつ活用していきたいです。これらの活用には子どもの実態を把握する必要があるということも学んだため、これらの技術を使うことを目指すのではなく、実態を把握し、目的にあった活用方法を考えていきたいです。



○今回のプレゼミナールでは、教育現場で活用されている先端ツールを体験的に学ぶことができた。ロイロノートや navima の導入によって、4月から行う授業づくりの幅をかなり広げることができたのではないかと思います。しかし、今日学んだのはあくまでそれらのツールの基本的な使い方であるので、次はどのように活用していくか、どのような場面で活用するのが適切であるのかを自分なりに検討していきたい。その際は、講義でも紹介されていた実践事例を積極的に参考にしていこうと思う。

プレゼミナールは、3月まで残すところあと2回です。これからでも参加申込はできます。関心を持たれた方は是非お申し込みください。次回の第7回は2月17日(土)「わかる・できる授業を目指して」です。各教科において指導主事による**模擬授業などを体験**します。